

## 要旨

ペルセウス群の初期活動とZCSペルセウス群の二重構造(小関正弘)

ペルセウス群の活動曲線が二重構造を示すことは以前から知られていたが、GMN のデータを用いて極大期と初期の活動に分解して調査した。輻射点移動に両者では微妙な違いがあり、初期の活動から得られた輻射点の位置と#0444ZCS の輻射点移動を比べることにより、ほぼ太陽黄経117 度(およそ7 月20 日)を境にしてZCS とペルセウス群の活動が切り替わる(判別できる)ことが示された。観測流星数が多い、ふたご群としぶんぎ群の例を挙げ、このような二重((多層)構造は多くの流星群が一般的に持っていると考えられることを指摘した。